

◎第3学年授業改善プラン

☆印については、ご家庭で取り組んでいただきたいことです

	現状分析（児童の実態） ○成果 ●課題	・学校での取り組み（授業改善プラン） ☆家庭学習ポイント（保護者の方々へ）	チェック
国語	○話したり、聞いたりする活動への意欲が高く、普段からスピーチや音読などに積極的に取り組める。 ●区の学力調査によると、全ての問題で区の平均を下回っている。特に、文章を書く問題に苦手を感じている児童が多い。	・引き続き辞書を活用して、分からない言葉や言い回しを調べ、語彙を増やしていけるようにする。 ・説明文の読み取りについては形式段落ごとに丁寧に読み取る活動とその文章の要旨を読み取る活動の二つのアプローチで読み解いていく。 ・朝学習の書くことタイムを活用し、定型文を使いこなしていけるようにする。 ☆自分の考えたことや気持ちなど内容のまとまりを意識して書く機会をふだんから意識させてください。	
社会	○興味関心が高く、学校の周りや中野区の町の様子など、意欲的に調べることができる。 ○地図記号を意欲的に覚えた児童が多い。 ●調べた中野区の町の様子や地形から、そこにはどんな土地活用がなされているかを考える思考力が弱い。	・引き続き、スーパーマーケットの見学などで、見て学ぶ活動を取り入れて、学習意欲を高める。 ・資料（地図・グラフ・表）から事象を考察する、予想する力をつけるためにたくさんの資料を提示する機会を用意する。 ☆一緒に買い物に行ったり、出かけたりして、身近な中野区の様子に触れさせてください。その際、「なぜだろう？」と感じたことを話し合えると、思考を深めるきっかけになります。	
算数	○区の学力調査によると、「数と計算」の領域では、区の平均値を1.8ポイント上回っている。 ●「量と測定」の領域では、目標値は上回っているが、区平均は4.9ポイント下回った。特に、「時刻と時間」を苦手としている児童が多い。	・日常生活の中で量や時間を意識させる、量を比べたり、測定したりする習慣をつけさせることで、量や時間の感覚を体感的につかませていく。 ・身の回りの物などに対して、長さや重さを予測をしてから比較・測定する活動を行うことで、数量の理解を深めていく。 ☆時計を見て、時間を求めたり、身の回りの物の長さやかさ、重さを予想したり測ったりする経験をお手伝いや日常生活の中で体験させてください。	
理科	○身近な動植物に興味をもち、意欲的に育てたり観察したりすることができる。 ●調べたいこととそのための実験方法を関係づけて考えられる子が少ない。	・観察や実験では、記録を分かりやすく書く指導をし、めあてと考察を関連付けて考えていく指導を続ける。 ・実験の結果だけでなく、予想と比較して分かったことを書けるように指導する。また、実験後の学び合いの時間を大切にする。 ☆科学的なものの見方を育むことができるよう、生活の中での身近な自然の変化について、「どうしてだろうね。」などと投げかけ、会話をふくらませてみてください。	
音楽	○音楽を形づくっている要素の働きを感じながら、楽しく音楽表現活動に取り組むことができ、音楽に対する興味・関心をもっている。 ●器楽の鍵盤ハーモニカの学習では、運指など技能面でのつまづきを感じている児童たちが見られ、適切な練習方法で、継続的に取り組むことが難しい。	・拍の流れにのって、歌ったり、リズムを打ったり、演奏したり、音楽をよく聴き感じ取ったことを体の動きで表したりするなど、多様な音楽活動を通して、音楽に親しむようにする。 ・音程に気を付けて階名で歌い、鍵盤ハーモニカで短い旋律を吹くなどの、基礎的な積み重ね学習においては、必要に応じて補充学習も行い指導する。 ☆楽器を持ち帰った時は、学習している曲を聴き、息遣いや運指、音色の美しさなど、よい所を認めてあげましょう。また、思うように演奏できない場合は、助言をお願いします。保護者の方と一緒に、繰り返し練習する時間をつくりましょう。	
図工	○新しい技法や材料に対して関心が高く、意欲的に取り組んでいる。 ●早く作りたいという気持ちが先行し、丁寧さがおろそかになる児童がいる。	・既習の技術も再確認して制作に入るよう指導する。 ・作品例を示し、活動の具体的なポイントを絞ることで、目指す完成度を明確にする。 ☆新しく取り組んだ題材の楽しさや、新しく身につけた技術について話を聞き、共感してあげてください。今年度は作品展があり、実際の作品を見てその良さをほめてあげてください。また、身近な美術作品を見たときや、身の回りのものに触れたときに感じた美しいと思う気持ちや感動を、言葉にして話し合っただけでください。	
体育	○体力テストによると、男女ともに「ソフトボール投げ」が全国平均を上回っている。男子は、「握力」「上体起こし」でも上回っていて、筋力系の運動が強い。 ●「長座体前屈」「反復横跳び」「20mシャトルラン」「立ち幅跳び」は男女ともに全国平均を下回っている。	・体育の時間中に色々な鬼遊びや運動を紹介し、普段から体を動かして遊ぶことの意識付けをするとともに、様々な部位の筋力を動かすようにする。 ・持久走やなわ跳びなど、体育的行事への積極的な参加を促す。 ・体育の指導中に、運動量を確保する。 ☆放課後は外遊びをするように声をかけてください。また、休みの日は、ご家族で体を動かして遊ぶ機会をつくってください。	

